

石油資源開発株式会社
第54回定時株主総会 質疑応答要旨

日時：2024年6月26日（水）10:00～

場所：ステーションコンファレンス東京「サピアホール」（サピアタワー5階）

当日出席者：54名※議場での報告数

（以下、当日の質疑応答順に記載）

Q1：福島県アンモニア基地構想について。

A1：

- ・福島県相馬地区におけるアンモニア基地構想については、本年1月より、パートナー4社とともに、検討を開始している。
- ・本件は、CO₂を基本的に発生しないクリーンアンモニアを輸入し、東北地域、北海道、北関東のエリアにおいて、供給しようとする事業である。
- ・本基地構想は、本年5月30日に、経済産業省から委託を受けた「エネルギー供給構造高度化事業コンソーシアム」の「非化石エネルギー等導入促進対策費補助金」事業に採択されており、検討を進めている。
- ・本基地構想には、輸入を検討している企業、供給されたアンモニアの利用を検討している企業など、複数の企業が参加している。
- ・当社は、輸入基地の運営をメインに考えているが、本事業が、アンモニアの輸入あるいは日本国内の供給に発展し、日本の2050年のCO₂ Net Zeroに向けて貢献できることを期待している。

Q2：メタンハイドレート研究開発の進捗状況と業績への影響について。

A2：

- ・メタンハイドレートの研究開発は、MH21Sコンソーシアムによって実施されている。
- ・当社は、そのメンバーである日本メタンハイドレート調査株式会社に対して、技術者の派遣や技術支援を行っている。
- ・同社は、当社を含む民間11社で設立されている。
- ・2017年には渥美半島沖で海洋産出試験を行い、約36日間で26万m³の生産に成功したが、技術的な課題が判明し、検討を進めている。
- ・昨年、志摩沖で簡易生産実験を実施した。得られた知見、判明した課題をふまえ、第3回海洋産出試験に向けて、技術開発を行っている。
- ・2030年までに民間主導のプロジェクトを開始できるレベルに達することを目標に、さらなる技術開発に取り組んでいるところである。

次のとおり、議長より補足があった。

- ・福島県アンモニア基地構想、メタンハイドレートのいずれも課題を抱えているが、解決に向けて取り組んでいる。
- ・アンモニア、メタンハイドレート等様々な分野で事業を行っていることは、当社が、総合エネルギー企業としての技術力を有していることの現れと考えている。
- ・引き続き、当社の取り組みをご支援賜りたい。

以上